



美しい山・川・海
人が躍動する 交流と共生のまち

ふるさと 香美

今月号の主な内容

- ・頑張る地方応援プログラム (その2) … P. 2～ 3
- ・地上デジタル放送がはじまります … P. 4～ 5
- ・ジオパーク構想が動き出す … P. 6
- ・新たな住宅地で新生活を！ … P. 7
 こんにちは町長です
- ・第30回香住ふるさとまつり … P. 8～ 9
- ・行政トピックス … P.10～ 13
 私たち、こんなことに取り組んでいます
- ・まちの出来事 … P.14～ 15
- ・キラリ香美町 … P.16
 (別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)



8

香美町広報
平成19年8月号
(第29号)

【写真】真夏の勇壮な一大絵巻 海上花火大会 盛大に終わる！

7月28日、第30回記念香住ふるさとまつり・海上花火大会で、今年も天をも焦がす勢いで2,800発の花火が、香住の夜空に打ち上げられました。

「頑張る地方応援プログラム」に取り組んでいます（その2） 「少子化対策・定住対策プロジェクト」



▲村岡・放課後児童クラブにて

国は、やる気のある地方が、それぞれ自由に独自の施策を展開することにより、「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む自治体に対し、地方交付税などの支援措置を講じるとして、本年度から「頑張る地方応援プログラム」をスタートさせました。

そこで本町では、本年度から3年間、「頑張る地方応援プログラム」として次の2つのプロジェクトを策定し取り組んでいきます。当然のことながら、この2つのプロジェクトは、町政を推進していくうえでのもっとも重要な課題です。

① 多彩な資源を生かした観光振興・交流プロジェクト
② 少子化対策・定住対策プロジェクト
先月号の「多彩な資源を生かした観光振興・交流プロジェクト」に続き、今月号では「少子化対策・定住対策プロジェクト」についてご紹介します。

香美町の出生数は、平成8年には258人でしたが、平成18年は135人とこの10年間で減少傾向が強まっています。人口の減少と高齢化が進行するなかで、出生数の減少を少しでも食い止めることは本町の喫緊の課題であります。

少子化の原因が、若者（若い夫婦）の減少によることから、若者定住、結婚対策、安心して子供を産み育てる環境づくりなどの対策を重点的に行います。

また、青少年の育成にあたっては、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを糧として、たくましく生きることができるような人間を育てることを目標に、学校、地域、家庭が一体となった取り組みを積極的に進めています。

若者定住対策事業

① 転入者のうち20歳以下45歳までの方で、町内に住宅を新築された場合や中古住宅を取得された場合に若者定住促進奨励金（100万円）を



交付します。賃貸住宅の家賃奨励金（月額1万5千円を上限、5年間）や住宅取得借入金奨励金（1%相当分、5年間）の支援も行っています。

② 若者の雇用拡大と産業の振興をめざし、町内の若者を3年以上雇用する見込みの町内の事業所に対し、若者雇用奨励金を交付します（10万円）。



③ 都市部等の单身女性との交流を通じて町内の单身男性の結婚を支援します。（若者交流事業として、「海のつどい」と「山のつどい」を実施しています）



放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ事業)

昼間、家庭に保護者のいない児童(幼稚園児および小学生)を対象に、放課後や学校休業日に子どもたちを預かることにより、児童の健全育成を図るとともに、子育て家庭の就労を支援します。



子育て子育て支援センター事業

①子育て学級、子育て講座、子育て相談、体験保育などの子育て家庭支援事業を行います。



②子育て情報の収集・提供や関係機関との連携などネットワークづくりを行います。

③子育てグループ・ボランティア



▶母親たちの子育てへの思いが詰まった文集「おがえ」(高井子育て・子育て支援センター発行)

アの育成支援、地域交流活動の支援など地域交流事業を行います。

保育所運営支援事業

さまざまなニーズにあつた事業(延長保育、障害児保育、一時保育など)を実施する保育所(園)に対して、財政的に支援します。



ふるさと教育推進事業

ふるさとに愛着をもつ青少年の育成を図るため、ふるさと教育推進事業に取り組んでいます。

①「ふるさと教育推進プロジェクト委員会」を中心として「子どもたちのふるさと学習体験発表会」の開催や地域の伝統文化を体験する教室、ふるさと語り部などの事業を推進し、啓発します。



②子どもたちに「ふるさと香美を愛する心」を育てるため、小学校の総合的な学習の時間などにふるさとの歴史、産業、自然にふれる体験活動を実施する「ふるさと香美町いきいき教室」事業を行います。



③いじめによる自殺や生命をおろそかにする事件が発生しているなか、人間形成の基礎が培われる発達段階で、自然に対する畏怖の念をはじめ、命の大切さ、美しさに感動する豊かな心を身につけるため、自然に触れ合う体験型環境学習事業を行います。



④特定の分野で専門性の高い郷土出身者やふるさとものしり博士などを学校に招き、体験談などを聞く「いきいき学校」応援事業を行います。

貸したり売り渡しができる空き家の情報を募集しています



最近、都会から田舎暮らしを希望される方が増えています。山、川、海の自然に恵まれた香美町は、こうした田舎暮らしに適したまちです。

町では、少子化対策や地域の活性化に向けて、多くの人に香美町に移り住んでいただくために、空き家情報を提供しています。

また、町外の若者や団塊の世代の皆さんなどの定住・長期滞在の要望にこたえたり、空き家

を有効活用した都市住民との交流などを図るため、空き家情報の提供を求めています。

町内に、賃貸もしくは売買できる空き家(一般住宅)をお持ちの方は、ぜひ、お知らせください。皆さんから寄せられた空き家物件の情報は、町のホームページなどに掲載し、定住希望者などへ情報提供します。

なお、交渉・契約などについては当事者間をお願いいたします。

▶問い合わせ先
役場総務部企画課

9月上旬に香住局（三川山）から試験放送開始

地上デジタル放送がはじまります

地上デジタルテレビ放送（以下「地デジ」という）は、香住局（三川山）からの試験放送が9月上旬に始まり（来日山にある城崎局からも同時開始）、いよいよ香美町でも視聴できるようになりまます。しばらくはデジタルとアナログ両方の電波による放送が行われますが、4年後の平成23年7月24日までにアナログ放送は終了しますので、地デジに向けての準備をお願いします。



なぜデジタル化するの？

テレビ放送に使える電波の周波数は限られており、現在の日本ではもうこれ以上すき間のないほど過密に使われています。

デジタル化すれば、チャンネルに余裕ができ、空いたチャンネルをほかの情報通信技術に利用することが可能になります。

地デジで何が変わるの？

●映像・音声が鮮明に！

アナログ放送では、高い建物の影響など電波状況により、雑音や映像、音声の乱れなどが起こりますが、地デジでは、高品質の映像・音声が届けられます。

●ハイビジョンが楽しめる！

ワイド画面、ハイビジョンの高画質、CDなみの高音質で、その場にいるかのような臨場感と迫力を楽しめます。

●一つのテレビ局が2〜3番組の同時放送も可能に！

一つのテレビ局が、野球中継とニュースなど、2〜3番組を同時に放映することができます。

●ニュースや天気予報がいつでも見られる！

データ放送により、いつでもニュースや天気予報など暮らしに役立つ情報を見ることができます。

●番組表がテレビで見られる！

当日から一週間先までの番組情報が見られ、放送時刻の変更があっても予約録画にすぐ対応します。

●番組のクイズなどに参加！

インターネットとつないだ双方向サービスで、クイズやアンケートなどの視聴者参加型の番組が楽しめます。

●高齢者や障害のある方へのサービスが充実！

地デジでは、字幕放送が

受信機の標準機能で、番組によつては、生放送も字幕付きで楽しめます。また、ドラマなどの筋書きを音声で紹介する解説放送を楽しめるほか、受信機によつては、音声速度を変えられ、声をゆっくりしたスピードで聞くこともできます。

●携帯電話などで見られる！

携帯・移動体向けのサービス（通称「ワンセグ」）により、携帯電話、車載テレビ、パソコンなどで乱れの少ない映像が受信できます。

特に緊急災害時には、電話が混み合つてつながらない状況でも、確実に避難経路や安否情報などを受信でき、生命財産を守るための重要な情報端末となります。



【地デジを見るには】

地デジの電波は、三川山などにある中継局で中継され、さらに地上に向けて発せられますが、電波状況によって個別受信が可能であったり、共同受信が必要であったり、地域によって受信方法が異なります。

特に従来共同受信をされてきた地域の人は、受信方法など詳しいことは、共聴組合などでご確認ください。

なお、ワンセグ機能のある携帯電話などで、その場所での地デジの電波が受信できるか確認することもできます。

【個別受信の場合】

- ①地デジ対応テレビに買い替える。
- ②デジタルチューナーを買い足し、今見ているテレビ（地デジ対応でない）で視聴する。
- ③民間ケーブルテレビのサービスに加入し、現行テレビで視聴する。

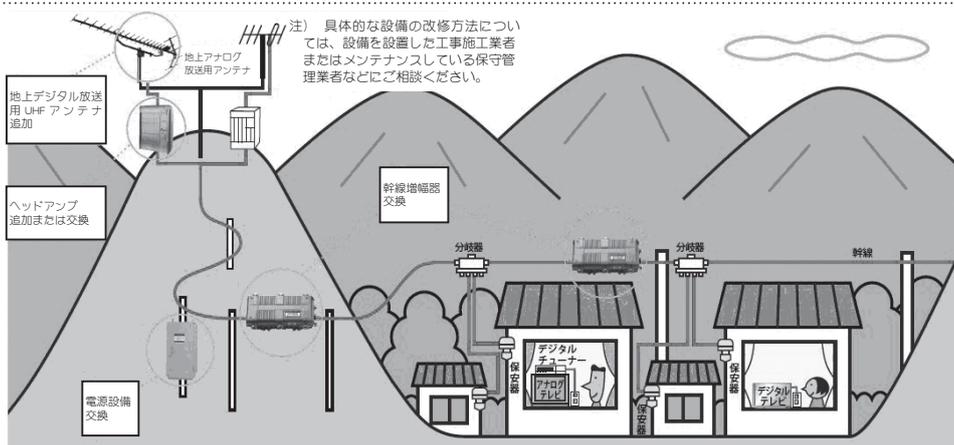
※テレビやチューナーの購入、ケーブルテレビへの加入に対し、国や放送事業者などからの助成金はありません。

【共同受信の場合】

①共聴施設を改修する。

山間部などのように、放送電波が弱くテレビが見えにくい地域では、難視聴解消のため共聴施設が設置されています。共聴施設で地デジを視聴する場合、施設の改修が必要になります。

なお、新たに共聴受信点を確保しなければならない場合もあり、施設の規模、老朽度合、改修方法などで、費用が変わってきます。また、テレビの買い替え、またはチューナーの買い足しも必要です。



注) 具体的な設備の改修方法については、設備を設置した工事施工業者またはメンテナンスしている保守管理業者などにご相談ください。

※NHK共聴の組合は、NHKから改修方法や費用の提案があります。

※自主共聴の組合は、各組合で改修方法などを検討し対応していただきます。1世帯あたりの負担が著しく過重となる場合は、国の助成制度を利用することができます。

②共聴組合全体で、民間ケーブルテレビのサービスに加入して視聴する。

加入については、共聴組合内でよく話し合ったうえで判断してください。なお、既存共聴施設の撤去費用の負担が発生します。

※ケーブルテレビへの加入や既存共聴施設の撤去に対する助成制度はありません。

【参考】

地デジ対応テレビの価格

液晶15型	約4万6千円
液晶20型	約6万2千円
液晶26型	約8万3千円
液晶37型	約13万1千円

(今年7月現在、最安値品)

地デジ用チューナーの価格
※約1万5千円
(今年7月現在、最安値品)

・民間ケーブルテレビは、町内では、(株)ケイ・オプティコム(☎0088・25・1010)がサービスを行っています。初期費用2万9千400円、月額料金3千465円(最も安いプラン)となっています。

【各種相談窓口】

地デジに関すること

・地デジコールセンター
☎0570・070101
(平日9時～21時、土・日・祝日9時～18時)

・(社)地上デジタル放送推進協会
☎03・5785・3400
・近畿総合通信局
☎06・6942・0820

共聴施設に関すること

・日本CATV技術協会
☎0120・774・673
●個別受信可否の調査、テレビ、チューナーに関すること
・全国電機商業組合連合会
☎03・3832・5021

●デジタル放送全般について
・役場企画課

★地デジに便乗した悪徳商法にご注意ください！

【事例】

「NHKより地上デジタル放送についてのご案内」と題した文書が送られてきた。地デジ受信への切り替え工事を期間内に申し込めば、「特別モニター」として工事費の3分の2を国とNHKが負担します」と偽り、申込金を振り込ませようとした。

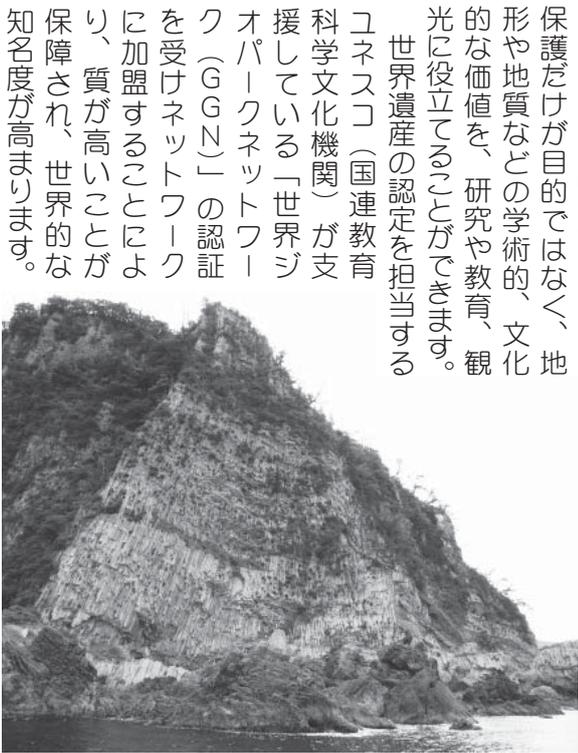
※地デジへの移行に便乗し、切り替え工事や助成金の提供などを装って、金銭を請求するようなものは架空請求と考えられます。不審に思われたら直ちに近畿総合通信局放送課(☎06・6942・0820)、最寄りの警察署または役場総務部企画課にご連絡ください。

山陰海岸を「世界の公園」に ジオパーク構想が動き出す

山陰海岸をジオパーク（世界地質公園）に！
かつて世界自然遺産の国内候補地にもなった山陰海岸をジオパークにしようと、7月16日、関係市町などで山陰海岸ジオパーク推進協議会を設立しました。
地質学の分野では大変貴重といわれている山陰海岸を、日本だけでなく、世界に向けてPRするため、「ジオパークとは何か？」についてご紹介します。

「ジオパーク」って何？

ジオパークは、世界地質公園と訳され、世界遺産に次ぐものと位置づけられています。
しかし、世界遺産のように保護だけが目的ではなく、地形や地質などの学術的、文化的な価値を、研究や教育、観光に役立てることができます。
世界遺産の認定を担当するユネスコ（国連教育科学文化機関）が支援している「世界ジオパークネットワーク（GGN）」の認証を受けネットワークに加盟することにより、質が高いことが保障され、世界的な知名度が高まります。



▲国指定天然記念物 鑑の袖

現在、世界15カ国、50カ所がGGNに加盟していますが、日本で加盟しているところはありません。山陰海岸は日本で第1号の認証を目指そうとしています。

山陰海岸・香住海岸の魅力

山陰海岸国立公園は、網野海岸（京都府京丹後市）から鳥取砂丘（鳥取県鳥取市）までの海岸線、約75kmにわたる地域で、昭和38年に国立公園に指定されました。
東の久美浜湾、小天橋や西の鳥取砂丘は、上流の川から流された砂や土が堆積して河口に独特の地形を作り出している、中央の但馬海岸は地殻変動や火山活動、波による浸食で入り組んだリアス式海岸を形成しています。

山陰海岸は、日本がユーラシア大陸と陸続きだった時代から日本列島が形成されるまでの地質の変化を見ることができる地域です。

また、山陰海岸国立公園の中心部に位置する香住海岸は国の名勝に指定されていて、最もその特徴を見ることができるといわれる海岸となっており、国指定天然記念物の「鑑の袖」や「鷹の巣島」（通称「インディアン島」）などの奇岩や今子

浦海岸の千畳敷などすばらしい景観を誇っています。

推進協議会の設立

ジオパーク構想の実現は、山陰海岸国立公園を構成する3府県の連携なくしてはありえません。各府県・市町・関係団体が一体となった活動に向け、日本におけるジオパーク認証第1号を目指し、7月16日、山陰海岸ジオパーク推進協議会を立ち上げました。この日行われた山陰海岸の魅力を再認識するフォーラムでは、遊覧船かすみ丸の赤松雅子船長（香住区境）もパネリストとして出席されました。
香美町も山陰海岸国立公園の中心に位置するまちとして、これからも積極的に活動していきます。



▲山陰海岸の魅力再認識するフォーラムも開催された

香住海岸の 代表的な景観



今子浦海岸

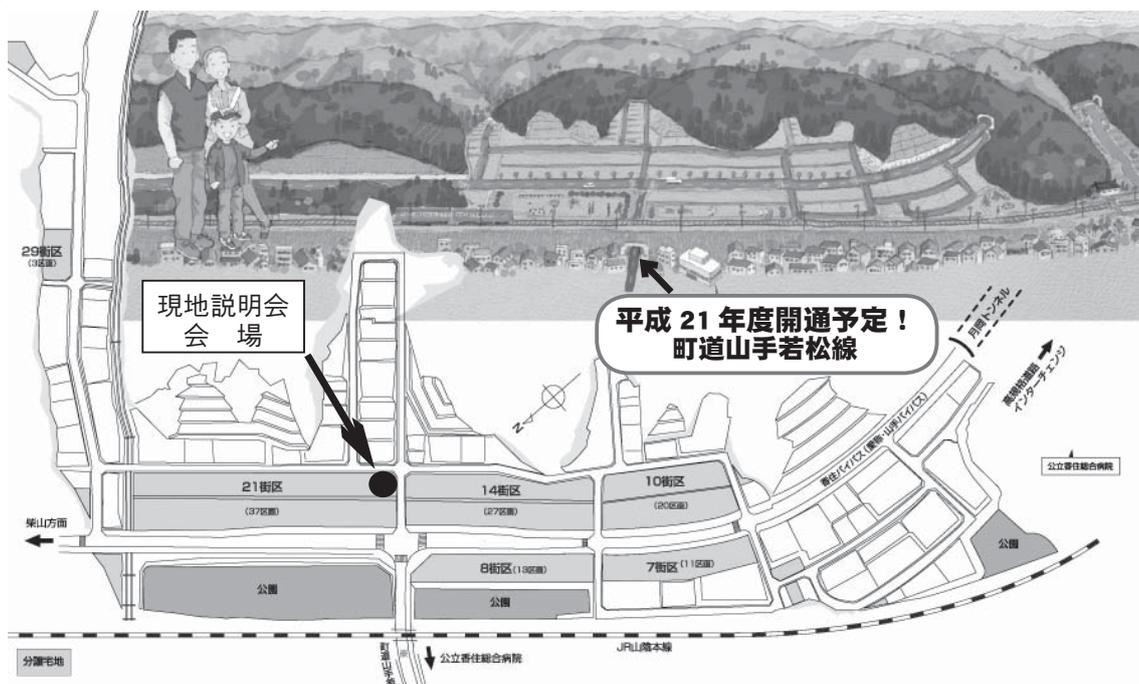


鷹の巣島（インディアン島）



めがね島

9月1日から「香住山手」分譲はじまる【9月1日（土）、2日（日）現地説明会開催】 新たな住宅地で、新生活を！



周囲を山林と海に囲まれ、平野部が限られた香住区は、既成市街地はかなり密集した状態となっています。そこで、香住区の一市市から香住に至るJR山陰本線の東側の農地と丘陵地が、新たな宅地開発の適地として注目されました。これが「香住山手」地域です。若者や団塊の世代の皆さんをはじめ、町外からの「ターンやUターン」を促進している中、新たな住宅地が確保されることは、町の活性化に向け、大きな追い風になります。

土地区画整理事業により、公共施設の整備と合わせて宅地の利用増進を目的に、平成10年に施行者である「香住山手土地区画整理組合（旧香住山手土地区画整理組合）」（組合員数104人）が設立され、土地区画整理事業がスタートしました。工事も進み、いよいよ9月から、全117区画（1区画平均面積200㎡・約60坪）の分譲はじまります。

この「香住山手」地域は、

香住バイパス（愛称「山手バイパス」）が縦貫し、地域高規格道路「香住道路」のインターまで数分と、大変交通の便のよいところにあります。平成21年度には、JR山陰本線の下をくぐり公立香住総合病院付近と「香住山手」地域とを結ぶ町道山手若松線も開通予定です。また、役場本庁舎や医療機関、小中学校などにも大変近く、生活条件に恵まれたすばらしい環境にあります。この「香住山手」地域で、新しい生活を始めませんか。

詳しくは、今回の広報に綴り込みの「香住山手」土地分譲のご案内をご覧ください。

●現地説明会開催

・とき 9/1（土）、9/2（日）

・ところ 午前10時～午後4時 香住山手分譲地

（上記地図参照）

●問い合わせ先

香美町山手土地区画整理組合事務局（役場建設部建設課内）

☎0796・36・1966

こんにちは 町長です

ジオパーク構想の推進

京都府から鳥取県まで、約75kmに及ぶ山陰海岸国立公園は、変化に富んだリアス式海岸を中心に、奇岩・洞門など、山陰特有の多様な景観を醸し出しています。

なかでも、その中心部に位置する香住海岸は、今子浦や三田浜などの美しい海岸とともに、鎧の袖やめがね島、さらには釣鐘洞門など、長年にわたる日本海の荒波で浸食された独特の景観を形作っております。

そして、これらの景観が四季折折、朝夕に、変化していく様子は、多くの人々に強い感動を与えています。

私達は、こうしたすばらしい香住海岸、山陰海岸を、一層、観光資源として知名度を高め、多くの人々に楽しんでいただくため、このたび、関係市町等が連携して、ジオパーク（世界地質公園）構想の推進を図っていくこととしました。

3年前には、世界自然遺産の候補にもなったほどの、地質的にも優れた海岸です。香美町も推進運動の核となって、その実現に努力していきたいと思っておりますので、町民の皆さんの格別のご理解とご協力をお願いいたします。

香美町長 藤原久嗣

香美町海の祭典 第30回 香住ふるさとまつり 盛大に終わる

海上花火大会 (7月28日)



しおかぜ香苑 イベント広場 (7月28日)



夏場の観光客の集客はもちろんのこと、町民の皆さんにふるさとを愛する心を育んでもらおうと、昭和53年にはじまった香住ふるさとまつり。

毎年、海上花火大会やうみのひろばなど多彩なイベントが催され、多くの人々で賑わいます。中でも数千発の花火が日本海を鮮やかに染める海上花火大会は、兵庫県下の四大花火大会の一つに数えられ、「花火大会といえば香住」と言われるほど、町外でも有名になりました。記念すべき第30回となった今年のまつりは、一段と盛大に行われました。

●しおかぜ香苑イベント広場 “海のよさこい踊り” 開催

天神破魔太鼓(香住区)を皮切りに、井上派系東流空手の演武(香住区)などが披露されました。

今回新たに「海のよさこい踊り」を開催し、御崎子供会(香住区)や栃の実グループ(小代区)をはじめ、但馬各地から集まった7団体が、それ

うみのひろば (7月29日)



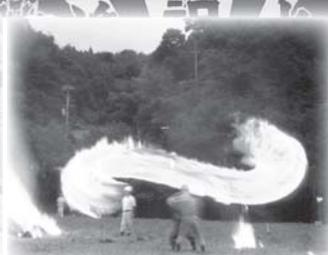
▲たらいこぎ大会
イルカクラス優勝 M's ファミリー ワイルドトノス



▶今年11回目となる映画「スウィングガールズ」のモデルとなった高砂高校ジャズバンドによる、まつりの夜長はJAZZコンサート



協賛イベント



▲矢田川結まつり

雄一さん(香住区一日市)が優勝し、「男の中の男」の栄誉を文字通り腕ずくで勝ち取りました。

▲川下祭「子供相撲大会」

たらいこぎ大会では、町内外から34チームが参加。波が高く転覆するチームが続出するなか、イルカクラスはM'sファミリー ワイルドトノス、マンボウクラスではシモンハーマが優勝しました。こども大会では、「長靴飛ばし」などが企画され、詰め掛けた子どもたちが大はしゃぎ。52区画のフリーマーケットも大賑わいでした。力自慢40人が集まったアームスリング大会では、吉本

▲勇壮な炎の舞万灯の火祭り

●うみのひろば
北近畿初 尺玉30連発も!
1時間で、2千800発。スターマインや仕掛け花火など、海上の2隻の台船から打ち上げられた花火は、爆音とともに色とりどりの大輪を咲かせました。最後は北近畿で初めてとなる尺玉30連発で締めくくられ、約4万6千人の観客が、大迫力に感動していました。

▲かえる島絵馬祈願

●海上花火大会
それぞれ趣向を凝らした踊りを披露されました。最後は、高砂高校ジャズバンド部の軽快な演奏で盛り上がりました。

みんなで止めよう温暖化
町役場もチーム・マイナス6%に参加

「チーム・マイナス6%」とは・・・

地球温暖化防止「国民運動」の愛称で、京都議定書による日本の目標は、温室効果ガス排出量6%の削減です。

世界に約束したこの目標を実現させるだけでなく、将来にわたる豊かな生活環境を維持・継続させるための大規模な国民運動です。一人ひとりが小さなアクションを起こし、国家・地球規模へ展開させることを目的としています。

役場もこの運動に参加し、より一層、環境に配慮した行動を努めます。ご家庭でも省資源・省エネルギーのご協力をお願いします。

●活動内容

- ①冷房は28℃に設定、②蛇口はこまめにしめる、③エコ製品を選ぶ、④ストップ・アイドリング、⑤過剰包装を断る、⑥使わないときは、コンセントから抜く

- 実施期間 平成24年12月31日まで
- 問い合わせ先 役場総務部総務課

感謝状を贈りました

多額のご寄附を
ありがとうございました

●「青少年健全育成に！」



荒垣一彦さん (香住区香住)

●「図書教育普及に！」



図書活動をすすめる会(香住区)
(代表 麻生興平さん)

「いきいき体操」で健康づくりを!



今年1月に制定された町民歌に合わせ行う「香美町いきいき体操」を創作しました。「下肢の筋力強化」「腰痛予防」「転倒予防」「肩こり予防」の効果があり、健康づくりにつながる体操として普及していきます。体操の手順などは、今回の広報に綴じ込みの『いきいき体操で健康づくり』をご覧ください。

また、DVDを作成しましたので、継続して「いきいき体操」に取り組む団体などに無償で配布します。希望される団体は、ご連絡ください。

- 問い合わせ先
町いきいき相談センター ☎0796・36・4004
役場健康福祉部健康課、各地域局健康福祉課

経営規模等評価結果通知書(経審)の

有効期限切れに注意!

平成18・19年度の入札参加資格審査申請受付の際にもお知らせしていますが、経営規模等評価結果通知書(経審)の有効期限が切れていると、建設工事の入札に参加することができません。

通知書の有効期限は、建設業法により審査基準日から1年7カ月となっていますので、有効期限が切れる前に、新たな通知書(写し)を総務課までご提出下さい。

- 問い合わせ先 役場総務部総務課

北但ごみ・汚泥処理施設建設
建設予定地再選定へ

豊岡市、香美町、新温泉町の1市2町は、共同でごみ・汚泥処理施設を建設することとし、北但行政事務組合を事業主体として、平成16年に豊岡市上郷を建設予定地と定め、施設の受け入れについて地区のご理解をいただくよう全力を挙げてきました。

しかし、7月24日夜、上郷区の総会が開催され、「生活環境調査の実施に同意しない」との決定がなされました。生活環境調査は、施設を建設する場合にその実施が法的に義務付けられた調査ですので、今回の調査実施に同意を得られなかったことにより、上郷での建設は事実上、不可能となりました。北但行政事務組合は、上郷での建設を断念し、改めて一から候補地を選定することとなりました。

現在、北但の1市2町はそれぞれの施設でごみを処理していますが、いずれも平成25年頃には耐用年数がやってきます。

ごみ処理施設は、必ずどこかに建設しなければなりませんので、今後、北但行政事務組合は、早急に新たな候補地の選定を行い、目標である平成24年度の完成に向けて全力を挙げて取り組むこととしました。

公立香住総合病院からお知らせ

●禁煙外来（保険適用可）開始



今年6月から駐車場などを含む病院敷地内を全面禁煙とした公立香住総合病院では、皆さんの健康増進を図るため、但馬で初めて保険適用が可能となる禁煙外来をはじめました。

●次の要件を満たす人は、保険診療が可能です。

- ①たばこを1日20本以上、10年以上吸い続けている人
- ②はつきり「やめる」という意思表示をした人
- ③ニコチン依存症テストに合致する人

●診療および本人負担

通常5回診療を基本とし、保険診療の場合、自己負担はおおむね5千500円程度。

●診察内容など

禁煙補助剤「禁煙パッチ」の処方（料金は別）

通常は2カ月程度でタバコがやめられる人もあります。なお、やめられなかった人は、再チャレンジできます。

●診療科 外科・胃腸科

●問い合わせ先 公立香住総合病院

●8月1日オープン 居宅介護支援事業所「もくれん」

居宅介護支援事業所「もくれん」は、在宅での要介護者の依頼を受けて介護サービスの種類や内容を定めた居宅サービス計画の作成、居宅サービス事業所との連絡調整、介護保険施設への紹介などをを行います。お気軽にご相談ください。

●業務時間 月～金曜日 8時30分～17時15分

●問い合わせ先

香住病院居宅介護支援事業所「もくれん」

☎0796・36・1167

公立村岡病院

9月から眼科診療を休止

現在、公立村岡病院の眼科は、公立八鹿病院から週1回の眼科医師の派遣により診療を行っています。9月から公立八鹿病院の眼科が縮小されるため、公立村岡病院への眼科医師の派遣が中止されます。このため、残念ながら公立村岡病院の眼科診療は、9月から休止いたします。

現在眼科を受診されている人は、ほかの医療機関へ紹介させていただきます。また、眼科の投薬のみの受付、処方も行いません。皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

●問い合わせ先

公立村岡病院 ☎0796・94・0111

公立豊岡病院 眼科 入院・手術を日高病院へ

9月から日高病院に「眼科センター」設立

現在、豊岡病院で行っている眼科の入院治療と通常の手術治療を、9月から日高病院へ全面移行します。このため、豊岡病院では、入院と通常手術ができなくなります。

外来治療は両病院で維持しますが、豊岡病院の外来は、現行の3診週5日体制から、1診週3日体制（火、木、金の午前・午後）に縮小することになります。

また、日高病院では眼科センター内に、紹介状をお持ちの方、術後経過観察中の方、豊岡市日高町の初診の方を対象とした外来を設置します。

●問い合わせ先

公立豊岡病院組合 ☎0796・22・6111

皆さんの声を町長へ『町長への意見箱』ご意見紹介

小・中学校球技大会の今後のあり方は、関係者の意見を聞いて！

近年、少子化が進むなか、児童生徒数が減少し、競技種目によつては、選手確保が困難な地区が増えています。このため、今後の球技大会のあり方や種目の見直しの時期にきているかと思われまふ。

町教育委員会としては、子どもたちの体力向上はもちろん、学年・学校間の交流で多くの生徒が参加できる大会としたいと考えています。

今後は、新たな競技種目の採用や、合併による三区での一体化が図れる大会運営など課題を協議し、本年度中に方向付けする予定です。

子連協など関係団体と協議を行い、皆さんのご意見を反映し、検討していきたいと考えています。



おめでとーございます

町内から表彰受賞者がありました

●「海の日」海事関係
功労者大臣賞

（多年にわたり港湾統計調査・報告に貢献）

但馬漁業協同組合
柴山支所

特色ある活動で地域の活性化に取り組む“がんばる団体”のご紹介！

私たち、こんなことに取り組んでいます！

柴山の海は、私たちのステージ

柴山地区 香住海洋クラブ



小学校4年生から大人までを対象とする海洋スポーツ教室、京阪神の小学生と交流するサマーキャンプ、町内小学校の自然学校の海洋教

室などに取り組む香住海洋クラブ（平成8年発足、子どもから大人まで約40人が所属）は、海洋スポーツを通じ、ふるさとの海と親しみ、この海をかけがえのない財産として守ってほしいという気持ちから発足しました。

会長の塩谷政弘さんは「ヨットやカヌーは水面すれすれの日常とは違う視点で、自分たちが住む地域を見つめることができます。ふるさと“柴山の海”をステージに体験した思い出は、大人になっても忘れない。たとえ都会へ出て、自分のふるさとは、こんないいところがあるんだと自信を持って語ることができます。海洋スポーツを通じ、子どもたちの中にまかれたふるさとを愛する心の種は、いつか必ず芽を出しましょう」と熱く語ってくれました。

親睦会から“形ある村おこし”へ

村岡地区 瀬川太鼓保存会



板仕野区の瀬川稻荷神社のまつりで演奏を披露する瀬川太鼓保存会（昭和59年発足）。地区外から嫁いできた女性が多いなか、「地元慣れ

親しんでもらうために、若い人が集まる場所が必要ではないか」と当時の区長らが中心となって婦人グループを設立。“何か形のある村おこしを”と考え出されたのが瀬川太鼓です。

演奏曲や振付なども、地元の人が考え、当初は、“桶”を太鼓代わりに演奏していましたが、太鼓を少しずつ増やし現在に至っています。演奏曲は、「瀬川稻荷奉納太鼓」と「瀬川清流の舞」。

代表の岡田光子さんは「メンバーは、子育て、家事、仕事、そして太鼓の練習と忙しい日々を送っていますが、何よりも地域づくりを誇りに頑張っています。200年余り奉り続けられてきた瀬川稻荷神社と板仕野の名を、少しでも多くの人に知ってもらいたい一心で活動を続けています」と抱負を語ってくれました。

小代の良い所を将来へつなぐため

小代地区 香美町商工会青年部小代支部



“みかた残酷マラソン大会”会場の草刈り作業、“ふるさと小代夏まつり”の模擬店、花いっぱい運動、年3回の「かわら版」発行などに取

り組む香美町商工会青年部小代支部（旧美方町商工会青年部・昭和48年発足、若者22人で構成）。

昨年は小代物産館前に人々が集いくつろぐ“あずまや”を建て、今年の“ふるさと小代夏まつり”では、小代区の特産品をモチーフにした「香美超戦隊オジレンジャー」を結成、祭りを盛り上げるなど、エネルギーに活動しています。支部長の小林良斉さんは「今後は、このオジレンジャーを通じ、子どもから大人まで、皆さんに、小代の特産品のPRや環境問題、まちづくりの呼びかけをしていきたい」と語ってくれました。

さまざまな活動を通じ、地域の活性化を目指し、地域の良い所を見つめ直す研修を重ね、“将来につながる環境づくり”に取り組んでいます。

求人情報				ハローワーク香住（職業安定所）			
☎0796・36・0137				(平成19年7月20日現在、順不同)			
▽正社員				▽パートほか（正社員以外）			
事業所名	職種	年齢	人数	事業所名	職種	年齢	人数
(株)西山工務店	現場監督	22～45	1	新日本ガード(有)	交通誘導警備員	不問	3
(有)セイシン創建	営業(土木建築工)	50以下	1	富士産業(株)神戸事業部	栄養士/管理栄養士	20～50	1
(株)本産業	採石業務管理者	不問	1	ヤマモトロープ	販売、事務	35～50	3
寺田ガス(株)	営業	不問	2	(株)ライフアート	縫製・仕上	50以下	2
(株)ライフアート	裁断	40以下	1	矢田川開発(株)	清掃業務ほか	不問	1
(株)北近畿クボタ	営業サービス職	35以下	3	(株)香美町観光公社	7:00～16:00	50以下	1
(有)もりひろ商店	水産加工員	不問	1	(フロント業務)	16:00～22:00	50以下	1
(有)かどや	スキューバダイビングショップ、旅館接客	18～35	2	やまだ歯科医院	歯科衛生士	30以下	2
(有)アイ・ティー	飲食業接客	不問	2	旅館 佐小	接客	18～45	3
(有)三七十	調理師見習い	不問	1	(株)ヨダ(香住店)	販売・夜間	20～58	1
マルカツ水産	工場管理者	30以下	1	(株)ヨダ	販売	18～58	1
村岡日石(株)	ガソリンスタンド販売員	40以下	2	(イトパリュウ香住店)	食品製造	18～55	2
入江精密工業(有)	機械加工(オペレーター)	不問	2	ほかほか弁当但馬飯	弁当の製造販売	不問	1
エイワ電器(株)	製造工員	18～45	2	(株)蔵平水産	製造包装員	20～60	2
				酒膳めいびる	接客係	18～40	1
				(有)三宝	接客、洗い場、清掃など	不問	2
▽パートほか（正社員以外）							
事業所名	職種	年齢	人数	事業所名	職種	年齢	人数
たじま農業協同組合	介護支援業務	50以下	1	鉄板焼かわ田フロアスタッフ	11時～15時	不問	3
(株)ナカケー	居宅介護支援業務	55以下	1		17時～23時	不問	
(株)コメR・コメリハードアンドグリーン村岡店	販売員(パート)	45以下	2	(有)アイ・ティー	11時～23時	不問	1
	販売員(アルバイト)	45以下	2		飲食業接客	不問	2
				(有)三七十	飲食業調理師見習い	不問	2
				村岡日石(株)	雑役	不問	1
					給油・洗車スタッフ	不問	2

◆緑の募金（お礼）◆



皆様のご協力により、今年度の緑の募金は、町全体で**1,390,008円**になりました。多額のご寄付をいただき誠にありがとうございました。

この募金は、森林整備をはじめ、森林ボランティアの活動支援、集落や学校の緑化事業の取り組みなどに役立てられています。

皆さんからの募金により、緑豊かな町づくりを目指し、町内の緑化を推進していきますので、今後とも深いご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

●問い合わせ先
役場産業部農林水産課

お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月(7/1～7/31)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

※このコーナーは、先月(7/1～7/31)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

道路は、みんなのもの。ゴミ・空き缶のポイ捨て、無断の張り紙、はみ出し看板の設置はやめましょう。

◆食中毒を予防しよう！◆



夏は気温・湿度が高くなるので、例年食中毒がおきやすい時期です。

次のことに気をつけて食中毒を予防しましょう。

●細菌をつけない【清潔】

- ・丁寧な手洗い！調理器具を綺麗に！
- ・食品はきちんと包んで保存を！

●細菌を増やさない【迅速】

- ・調理した料理は早めに食べる！
- ・仕出し料理等はその場で食べて家に持ち帰らない！

●細菌をやっつける【加熱か冷却】

- ・加熱は75℃で一分間以上、中心部までしっかり！
- ・冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-18℃以下に！

●問い合わせ先

豊岡健康福祉事務所食品衛生課
☎0796・26・3664

●役場各課など主な施設の連絡先

役場本庁舎	36・1111(代表)				
総務課	36・1111	企画課	36・1962	税務課	36・1113
町民課	36・1110	健康課	36・1114	福祉課	36・1964
観光商工課	36・3355	建設課	36・1961	下水道課	39・2053
議会事務局	36・1963	村岡地域局	94・0321(代表)	水道課	36・0420
教育委員会	94・0101	香住分室	36・3764	小代地域局	97・3111(代表)
公立香住総合病院	36・1166	公立村岡病院	94・0111	小代分室	97・3966
香住老人福祉センター	36・5008	村岡老人福祉センター	98・1000		
小代高齢者生活支援センター	97・2202				

(全ての施設の市外局番：0796)

まちの出来事

香美町子育て合同交流会

昔の人たちの生活も結構楽しい (小代区)

7月3日、小代区の「古代体験の森」で、香美町子育て合同交流会が開かれ、町内3区の子育て・子育て支援センターの親子ら約100人が一堂に会し、親睦を深めました。



参加者らは、縄文時代の竪穴式住居を見学したり、昔の火のおこし方を体験したり、また、昼食には、赤と黒の古代米で作ったおにぎりを食べるなどし、昔の人の生活を楽しまました。

香住区大谷から参加した小谷弥生さんは「古代米は普段食べられないから、貴重な体験をさせてもらいました」と感想を述べました。子どもたちも、目をきよるきよるして興味津々な表情をしていました。

第17回猿尾滝まつり

滝の涼と、そうめん流し60m (村岡区)

7月8日、梅雨の中休みの晴天のなか、村岡区日影の日本の滝百選の一つ猿尾滝で、第17回猿尾滝まつりが開催されました。



滝へ続く遊歩道では、涼しげな水の流れを前に、全長約60mの「そうめん流し」が行われました。目の前に「そうめん」が流れてくるたびに、参加者の大きな歓声が上がっていました。

会場では、猿尾滝にちなんだ川柳の展示や魚のつかみ取りなども行われ、訪れた家族連れらは、夏本番を前に早くも「涼」を満喫していました。いつもは静かな猿尾滝も、この日はかなり大いに賑わいました。

かえる島絵馬祈願、 「かえる飛ぶ？」大会 香美町に、また「かえる」からね! (香住区)

7月22日、香住区の今子浦海水浴場で、「かえる島絵馬祈願」と「かえる飛ぶ? 大会」が開催(香住観光協会主催)されました。

かえる島を望む公園で行われた絵馬祈願では、観光関係者ら約30人が集い、昨年からは奉納されていた「かえる絵馬」を焼納し、願いの成就を祈りました。神事が終わると、早速、観光客らが新しい絵馬を納めていました。



また、浜辺で行われた「かえる飛ぶ? 大会」では、町内外の子どもから大人まで50人が参加し、大中小のかえるのめいぐるみから1つ選び、竹などで作られた装置を足で踏み、この原理でカエルを飛ばしました。

() ケロケロー

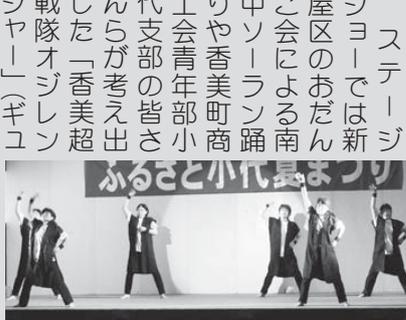


優勝は、養父市の藤井かすみさんで、飛距離13m90cmでした。勢いよく踏み込んで、5m70cmを記録した秦瑠彦くん(香住区一日市・6歳)は「海まで飛ばしたかったのに、ちよっと悔しい」と感想を語りました。

第30回ふるさと小代夏まつり

ふるさとを愛する思いが、いっぱい (小代区)

7月21日、小代区大谷のゴンドラステーション駐車場で、第30回ふるさと小代夏まつりが開催され、ずらりと夜店が並んだ会場では、大勢の来場者が、祭りの夜長を楽しんでいました。



ステージショーでは新屋区のおだんご会による南中ソーラン踊りや香美町商工会青年部小代支部の皆さんらが考え出した「香美超戦隊オジレジャヤー」(ギユウレッド、チヨウザメブルー、スッポンイエローのヒーロー3人が悪を退治する)の芝居が行われ、客席を沸かせました。祭りは、地元の皆さんのふるさとへの熱い思いで満ち溢れていました。

江戸時代の村人の心を受け継ぐ万灯の火祭り 迫力満点、勇壮な炎の舞 (香住区)

7月24日、香住区三谷の矢田川河川敷で、江戸時代に始まった伝統行事「万灯の火祭り」が開催され、多くの見物客が訪れ、迫力満点の炎の舞に魅了されました。

夕暮れどきから始まった火祭りは、三谷区の皆さんが五穀豊穡と無病息災を祈って奉納する炎の舞で、燃え盛るたいまつを火の粉を撒き散らしながら振り回す大変勇壮なものです。



長さ4〜8mの竹ざおの先端に麦わらの束を取り付けたたいまつは、火がつくと仕掛けられた爆竹のごう音が鳴り響くなか、瞬間に大きな炎となつていきます。子どもから大人まで、約60本のたいまつを1時間かけて奉納した後、会場中央に集められた麦わらの炎を、約20人が竹ざおで突き上げると、大きな火柱が上がり、祭りも最高潮となりました。京阪神から訪れた男性は「恐ろしいくらいすごい迫力」と言いながら、降ってくる灰を払うのも忘れてカメラのシャッターをきっていました。

第17回射添・矢田川まつり 集い、遊び、共に生きる矢田川と！ (村岡区)

7月28日、村岡区長瀬の矢田川沿いにある大平公園で、「自然との共生をめざして」をスローガンに射添矢田川まつりが行われました。

会場では、アユの塩焼きなどのバザーをはじめ、ビンゴ大会やニジマスのかみどりなどが催され、子どもから大人まで大勢の来場者で賑わいました。

矢田川の浅瀬に用意されたニジマスつかみの会場では、イベントの開催を待ちきれない子どもたちが、服が濡れるのも構わずに、ビーチボールなどで水遊びをはじめ、気



持よさそうでした。また、バザーで人気だったアユの塩焼きを食べた村岡区入江の片山美桜ちゃん(5歳)は、「ちよつと熱かったけど、おいしかった」とお母さんの手を握って照れ臭そうに感想を語ってくれました。

透き通るほどの透明感!

“活”に勝る新鮮は、なし!

夏季限定 (6~9月)

絶品 活イカ



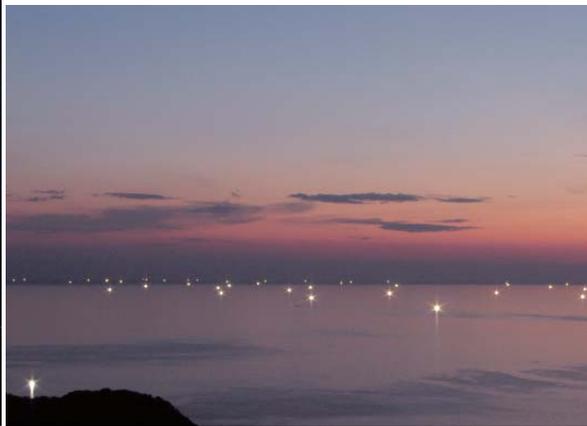
▲活イカの姿造。鮮度抜群! 透明感と食感がたまりません。



▲包丁が入ると、力強く足が広がる。生きのいい証拠。



▲一匹一匹傷つけないように釣られる



▲夕暮れどきから漁火が灯りはじめる香住海岸

活イカに使用するのは、夏の香住沖でとれるシロイカ(ケンサキイカ)。日没とともに灯る無数の漁火。活イカとして使えるシロイカは、機械釣りではなく、手間をかけて、一匹一匹丁寧に釣る“手釣り”で釣り上げられたものだけ。シロイカはちょっとした傷にも弱く、すぐに透明感が鈍り鮮度が落ちてしまうからです。そのため、大量にとれず、地元でもなかなか手に入りません。

冷凍でも美味と言われるシロイカを「生きたままお客さんに食べてもらいたい」という要望に応え、平成12年から旧柴山港漁協で取り組み始め、同15年には旧香住町漁協でも取り扱われるようになりました。

活イカの流通に当初から関わってきた但馬漁協直販加工部柴山直販店課長の和田耕治さんは「今なお、生態に不明なことが多いシロイカ。ストレスに弱く、水槽に入れても長くは生きません。その上、漁は気象状況などにも大きく左右され、場合によっては、注文に応じられないこともあります。漁業者から買いつけ、旅館の厨房に無事届くまで、神経の使いっぱなしです。それだけ、貴重な食材でもあります。しかし、なんとも言いえない食感と甘みは、まさに絶品です」と苦労話を交えながら、説明してくださいました。

まちのうごき

(平成19年7月1日現在)

合計	22,128人	(-8)
男	10,550人	(-1)
女	11,578人	(-7)
世帯数	6,991世帯	(-2)

カッコ内は前月比

編集後記

夏休みもはじまり、町内各地でさまざまなイベントが行われています。先日の香住区三谷の「万灯の火祭り」、わずか36戸の集落が行う祭りですが、京阪神から写真愛好家の団体が詰め掛けるなど、町内外から1000人近い観客が訪れていました。

およそ200年前に始まったとされるこの祭りも、たいまつと材料となる麦わらの確保が困難になり、約30年中断していました。三谷区の人々が鳥取県で麦畑を見て、「あの麦わらがあれば、火祭りができるのにな…」とふと口にすることをきっかけに、麦わら探しが始まり、熱意が実って、神河町から麦わらを提供してもらえぬようになり、昭和59年に復活、今日に至っています。オンラインファンが大きな魅力。ここにはかないから、大勢の人が労を惜しまず速くからでもやって来てくださる。町内には、こうした「唯一無二」がまだまだあります。楽しみですね。(今西)



この広報ふるさと香美は、自然環境を考えたソイ(大豆油)インキ、再生紙100%を使用しています。